



「第1回 ICT 活用授業づくり研修会」

5月8日(月)に小・中学校教員を対象に「GIGA スクール端末を有効に活用した授業づくり」について研修会を行いました。講師は、宮城県総合教育センター指導主事 遊佐賢先生でした。

講義の内容は、社会システム等の大きな変化に対応していくために求められる「情報活用能力」やそれを育成するための「学習内容」等に加えて「個別最適な学びに関するモデル事業」における県内の実践事例なども盛り込みながら、分かりやすくお話しいただきました。授業改善の取組に対する受講者の意識・意欲を高めることができました。

事後の感想には「ICTを活用し個別最適な学びと協働的な学びを行っていくためのヒントをたくさんいただけたので、今後の授業に生かしていきたい」「これからの授業が見えた気がした。いろいろなツールがあるが、まずは使ってみよう」とありました。

次回9月15日は宮城教育大学附属小学校 上杉泰貴先生による宮野小学校の児童に対しての出前授業と、授業後に参観者に対して授業づくりの講話を実施します。



「第1回算数・数学授業づくり研修会」

5月18日(木)に小・中学校教員を対象に「算数・数学の授業づくり」について研修会を行いました。講師は、宮城県総合教育センター指導主事 戸羽賢一先生でした。

講義の内容は、「県の算数・数学の課題やそれに向けた授業改善の取組」「授業のアイデアや参考になるサイト」「ICT機器(タブレット)の効果的な使い方」など、受講者にとって多くの学びがあり、大変参考になるものとなりました。

須藤特任教授から全国学力・学習状況調査の数学について、狩野特任教授からNRTの算数・数学の分析結果について説明し「数学的用語の大切さ」を改めて理解していただくとともに「授業のあり方」について自分の授業を見直そうという意識を高めることができました。

事後の感想には「教えていただいたツールや実践例が生かされた授業をするのも見るのも楽しみ」「学んだことを学校で共有していきたい」「宮城教育大学附属小学校の先生の授業を見ることができると楽しみにしています」などがありました。

次回7月12日は、宮城教育大学附属小学校 三井雅視先生に栗駒南小学校の児童に対しての出前授業と、授業後に参観者に対しての授業づくりの講話を実施します。

「第1回幼稚園研究主任研修会」

5月26日（金）に幼稚園の研究主任の先生を対象に研修会を行いました。

菊地特任教授から「研究主任の役割」についての講話の後、菊地・高橋両特任教授が見守る中「研究保育の進め方」についてのワークショップを行いました。3人ほどの小グループに分かれて、自園の研究保育について話した後、指導改善につなげられる研究保育の仕方について話し合い、自園に合った研究保育の仕方についてまとめました。

事後の感想には「研究のタイムスケジュールを立てること、やることリストを他の教員と共有できるように見える化にすることに取り組んでいきたい」「意見交換をしたり、互いの課題について話し合いをもったりすることで、色々な意見を聞くことができ、参考になりました」などがありました。



「WEBQU活用研修会」

5月29日（月）に小・中学校教員を対象に「WEBQUの見取と活用」について研修会を行いました。講師は、合同会社MAZDA Incredible Lab代表の松田孝先生でした。

講義の内容は、「WEBQUのアンケートの目的」「望ましい学級集団のプロットと集団づくり」「組織的対応のための共通理解」をもとに実践に生かそうとする実施の覚悟と本気度をもって取り組んでほしいことについて熱くお話いただきました。その後、「新しいWEBQUの分析」「全体対応」「個別対応」「架け橋対応」と自身の実践を踏まえた「具体的対応策（朝ノート、一覧共有と自己評価活動）」について説明いただきました。

事後の感想には「WEBQUでは結果が即時に出ること、プロット図の見方や個別の生徒指導への対応、学級集団をより良い方向へ創り上げていくための方法、自己評価の適切な実施のためのツールなどたくさんのことを学ばせていただきました」「QUを実施するにあたり教員の意識の在り方、児童生徒への向き合い方を改めて考える機会となりました。日頃の取組の実践例を聞いて生徒の承認欲を満たすためには、日々の生活で信頼関係を築いていくことが大切であるということが分かった」などがありました。

